

# 郷の集い

行 A 会  
 新郷小学校PTA  
 学級委員者  
 編集責任者  
 山崎久  
 印刷  
 久野印

## おとし穴

宮川 哲二郎

先だってこんな事がありました。学校の砂場に木切れを集めて来て、おとし穴を作るのです。

おどろく事には、その穴の底に先のとんがったガラス片をいくつもつきさしてあるのです。私達から見るとゾツとする様な事なので、幸いな事に早期に発見出来て、誰もけがをする事がなかったのです。

さつそく六年生による砂場の大掃除。一片の木片も一かけらのガラス片も見逃さない様に血眼になって大奪闘なのです。なにせ砂場は、走り幅跳び等素足で使うところなのです。

この様な大それた事をした子をどうしても見付ける事が出来ませんでした。登下校時、幼稚園の廊下を平気で土足で歩く児童。手ばなし運転の練習をする、全く馬鹿気た行動する児童。

なにせ、今日の児童は事の善悪の判断が出来ない者があまりに多すぎるのです。近年、本校の児童に多く見られる傾向なのです。

生活のゆとりを求め職業を持つ若い母親、そして父親、教育に対する情熱も旺盛とお見受け致しておるのに、この子供達の実態をどの様にお考えでしょうか。

経済的に豊かである。日曜にはドライブ、そして外食、子供達の喜ぶ事ばかり。高価なプラモデル、モデルガン、ラジオコン等を買ひ与え、そのモデルガンで子供をねらいうちして遊ぶ、おそろべき児童、おそろしい事です。

農家の忙しい季節になつても、まるで都会の子の様な服装で遊ぶ子供達の姿、働く喜びも、苦しみも知らぬ子供達、土曜の午後、集落内をまわつても子供達の遊ぶ姿を見る事が出来ませ

ん。出会うのは、塾へ急ぐ子供達ばかりです。

今日、本校では約六割近い児童が珠算、習字、ピアノ等の塾に通っております。塾通いの目的として

- 一、将来のために技術を身につけるために
- 一、算数が出る様になるので
- 一、友達が行っているのだから

その理由はいろいろである。確かに子供の時代に身につけた技術は生涯忘れないものである。だから、塾通いは意味のない事ではないと思う。

ところがである。ひよんな事から塾通いについての大きな問題が発覚したのである。調べてみると、私どもが知らない間にどんどんその事が輪を広げていたの

その事とは、  
 ●塾へ出席するため家を  
 出ているが、塾へ出席  
 していない。  
 ●塾が終了する時刻にバス又は自家用車で帰宅

する。

その間、

- 町の中をぶらつく
- ショッピングセンター内をぶらつく特に本売り場、プラモデル売り場
- モア内をぶらつく
- 持っているお金で買ひ食い、プラモデルを買ひ

この様な事が塾通い者の八割近い児童がやっているのです。多い子は、二度三度と繰り返しています。更に調査を進めて行くと、おどろく事が判明しました。

家の金銭を持ち出して買ひ食い、プラモデルを買ひ友達にいくつも分け与える。塾で出席した事を確認するために、押す印鑑と同じ印鑑を買ひ求め、自分や友達の出席ばに押印する。あいた口がふさがらない様な出来事なのです。

今までも色々問題は起きて来ましたが、この様な行為は見られなかったのです。お金を渡して塾さへ通わせておけば。安易な考え方が、この様な事態を生んだのです。経済の豊かさを求めて働く事に無中になつている間に、こんな大きなおとし穴にはまりこんでいるのです。

塾へ通わせている保護者の皆さん、今少し真剣に考えようではありませんか。  
 一、塾通いのバス乗車の

ために回数券を持たせよう。一〇円か二〇円程度の電話代のみ持たせる。

一、塾の出席カードをその都度点検しよう。欠席、遅刻等が分かります。点検していない方があまりに多すぎます。

一、子供の持ち物を知ろう。机の中等にある持ち物を点検するのです。どんなものがどれだけあるか、買ひ与えたものの、プレゼントされたものの他に気になるものがないか。気になるものがあれば、だれからいつ、どうしたと追求し、相手方に電話して確かめよう。

一、塾のための練習を家でしない者は、やめさせたらいかげんか。  
 一、塾のためには、御意見があれば、宮川までお知らせ下さい。

## 少年の非行問題に思う

新郷小学校六年 黒田 紀子

一、もし問題となる様な行動が見られたら断固塾通いをやめさせよう。その様な子は、塾での学習も満足に出来ないはずだ。

友達が行くのでかわいそうだと親の甘えの考え方が、子供の将来をゆがめる事になる可能性もあるのです。毅然たる態度こそ本當の親の愛情と思うのです。

この様な出来事は、本校の児童の一にぎりの者によって起こされたものと言え

るかも知れません。しかし、これは我が子の事ではないと言っておれないのが、今日の様子なのです。一人一人の親が責任を持って愛する子供を育てて行く

最近、テレビや新聞などで、少年の万引とか校内暴力とか、シンナー遊び、もつとひどいことになる、殺人までおかしている少年の事などが報道されています。しかも年々ふえつづけて、そして低年齢化し、男子に比べ女子も多くなつてきているようです。私達の住んでいる農村地帯で、しかも信こう心の厚い現在の新郷地区では、どれ一つとってみても考えられないことばかりです。辞典で調べてみると、非行とは「よくない行い」と書いてあるだけでした。なぜこの様な「よくない行い」をする、少年少女がふえてきたのでしょうか。わたしは、お父さんやお

を聞いてみました。すると父は、

「お父さんらのときは、不良とか非行などと言う言葉はほとんど聞いたことがなかったぞ。」

と言います。

父の時代と、私達の時代とはどうしてこんなにちがうんだらうか。また、母は「お母さんらの時代は、学校から帰ったら宿題はあとまわしで、田んぼの手伝いやら、家の仕事が先で、とてもいそがしくて、遊ぶひまもなかった。」と言います。

昔は、家族総でてやった農作業も、今ではコンバイン一台でみんなやってくれます。

こうしたことは、昔の人たちにくらべて、今の私達は自分で自由に使える時間がとても長くなり、それと反対に家族が協力し合う時間や家事や社会についての家族との対話が少なくなったのではないのでしょうか。

私達は現在、テレビやラジオ、雑誌の広告などいろいろな情報を取り入れ、それにつられて多くなつた自由な時間を遊んだり、豊かさの中にあるいろいろな物



います。

つまり、現在の私達は豊かさに負けて、がまんしたり、自分で物事を判断したり、物事の悪い悪いを判断したりすることが、だんだん出来なくなっているのではないのでしょうか。

私達は、やろうと思えばなんだったて出来ませう。父は「今のおまえらは限度と言うものをしらん。」

と言います。

そして

「何をやって、も、やりっぱなし、おまえらは経験が少ないからどこまでしたら良いか悪いかのけじめが分かってえんのや。」と話してくれました。

私は父の話聞いてたいへん勉強になりました。

しかし、初めは非行に走る人もその人自身が悪いからだと思っていました。が、父や母とのいろいろな話し合いの中から、悪いのは私達だけでなく、現在の社会全体にも非行に走る少年を育てる温しうがあると思えます。

高校一年生になった姉はこんなふう話してくれました。

「一つの花だって、陽と

ら、きれいな花をさかせ実を結ぶんにやぎ。それと同じように非行の芽も現在の社会のいろいろな条件がからみ合せて育ってしまうんでねんか。」

私はまだ小学校六年生です。これから大人になって行くあいだにどのような経験をするか分かりません。だから一人でも多くの友達と手をつなぎ合せて、両親や先生、社会の大人たちの意見をすなおに聞いてがんばりぬきたいと思えます。

そして、自分にすなおにふまれてもふまれても強く正しく明るく生きていきたいと、心にちかっています。



# グラウンドの思い出

想い出

齊藤 豊

私が学校に色々な事出席させて頂き、いつも思い出すのは秋の体育祭に旗を吊る大きな松のことで始業始めと終りには必ず其の横で鈴を打った音が年輪と共に深く刻みこまれて今日に至っている。

又、正門両脇の松、其の他の木も愛護会の温かい心づくしで位置替を、昭和二十三年六月の大地震以降にされ、約三十五年の長い年月が過ぎました。

しかし、児童の体育の場としては校舎の南にあり、非常に良い校庭ですが、玉を使用する競技は前に県道を控えて危険だと思えました。狭い運動場で毎年色々行事をする学校側も、又新郷地区を引率して頂く区長と体育協会役員の方々も非常に希望あつて出来得ない行事ができたと思えます。

又、一年一回の秋の新郷校体育祭には私も皆様と茶菓子を共にしつ、狭いグラウンドで色々児童から老人迄の競技を見せて頂き我々も競技を囲む様にして叫び、笑いを共に送ってききました。

思いは深く心の中にのこって居ます。来年の秋の体育祭には大きなグラウンドで競技を出来ませう夢を心に描きながら待つて居る私です。

卒業生の一人として

岡田 靖子

校下挙げての念願の新校舎の完成を間近に控えて、卒業生の一人として私の小学生の頃の出来事や、思い出を書き述べたいと思えます。

私は昭和二十年の四月に当時の新郷尋常小学校に入學し、八月に終戦を迎えました。敗戦と言う言葉すら知らないままに、ラジオの放送に耳を傾けた時のことを今でも鮮やかに思い出されます。

それから三年後の六月二十八日、何処からともなく立ち登つて来た砂煙りとごう音と伴におそつた福井大地震に、桜並木に囲まれた校舎も一片もなく壊れ去ってしまったのです。あれから三十余年の年月が流れて豊かな時代となりましたが如何に時代が変わるうとも、新郷の地を良きふるさとに願う「心」はいつも同じであったと思えます。

子供達には新しい校舎の完成の蔭には、町村合併や廃校の憂き目にもめげず新郷小学校を守り抜いて来た人達の、血のにじむ様な努力があったことを教えたいと思えます。そして、新郷小学校の卒業生として誇りを持って生きてほしいと思えます。関係者の方々から御礼を申し上げます。

想い出

篠崎 守

このたび校舎が新築され近代的施設に生れ変わり校庭も広くなるとのことであり大いに期待しています。

その反面、現在の校舎にて良く遊び学んだ思い出が消されるとなると、さみしい思いがしてやみません。私の小学時代は、現在のプールなどはなく水田風景も今は土地改良事業がなされた当時の学校敷地西側及び北側に用水路が有り、魚などを取っては、学校の池に入れたことや、給食が当校で料理されていたため、三限目ぐらいから、おいしいにおいをただよわせていたこと、講堂横の大きな松の木は、夏期には、日蔭に利用したり鬼けんぼの遊びには、なくてはならないものであったこと、校庭も低学年の時は、一周八〇米のグラウンドが大きく見えたが、高学年になるとこれが、小さく思われ、体育会の時などはコーナーが走りにくいため転んでは、ひざこぞうをけがしたこともあった。このようなグラウンドが、一掃され新たに生れ変わることはさみしい反面、期待感もあり、今後の生徒たちには、新校舎でより多くの良い思い出を体験して行ってもらいたい。



野内 節子

「天高く馬肥ゆる秋」も過ぎ寒い冬がやってくる季節になりました。体育館も新築され、校舎も五十九年度には完成される事と思いが、それについて、小さな外運動場も広くなる事と思えます。

私達も今から三十数年前に学び遊んだ学校、一本の松の木を中心にハタをゆわえた小さな運動場でドーンとピストルの音が響きわたり、私達も子供達も皆一生懸命に走った運動会、そして子供達のサッカーやソフトボールやフットベースボールと走り回った運動場、たくさん思いついた小さな運動場がなくなる事淋しく感じられます。大きく広くなる運動場に期待をし、皆様の健康増進や区民の体育の場として、子供達を中心に子供達の為の運動場として使用出来る事を願います。

村田 秀行

グラウンドとの思い出も言っても、一口には言い表



せないような気がします。幼い日は、芝生の中で飛んだり、跳ねたり、ころがったりした事などがありますが、なんと言っても、運動会があります。家族のしている中で、一生懸命に走った事、幾つかのチームを作り騎馬戦で遊んだ事や、親と一緒にゲームをして楽しんだ事など、汗と涙と笑いが入り混じっていました。今の子供達も私と同じ思い出があることでしょう。時には、ドッチボールゲームで相手をやっつけたり、放課後カバンを置いて、鉄棒をして遅く帰宅した事など楽しいことがいっぱいありました。嫌な事と言えば、鎌を使って、草むしりをした事があります。少しでも友達と遊んだら、先生に叱られるといったふうな苦しい思い出もあります。他の学校に比べると、一回りも二回りも小さいグラウンドではありますが、何か親しみがあったように思います。

研修旅行の思い出

研修旅行の思い出 青木 友子

日程は、蒲郡の潮干狩り岡崎城見学でした。

子供の頃にもどった気持ちで、前日からうきうきし、朝早く目覚めてしまいました。学校前を六時出発。先生方はじめ四十名余り乗せたデラックスバスは、快適なドライブの内に、潮干狩り場に到着です。着いた時は、

「こんな所で貝が取れるのかなア」と思っていると、見る／＼水が引いて行き、おどろきました。まっ黒いどろどろの、砂とも土ともつかない水の中で、貝が泡を噴きながら呼吸をしていたのもおどろきの一つでした。

みんな必死で、我も／＼と熊手を使いながら拾い、とてもいいおみやげになりました。

その帰りに、今ブームの徳川家康の出生の地、岡崎城を見学しました。二の丸跡に、三河武士の館、家康館が建っていて、徳川家康と彼に仕えた三河武士たちの人間像を中心に、これらを取り巻く時代のうつり変わりや、文化財などが、わかりやすく展示されています。



徳川家康ゆかりの地をたずねて

(愛知県岡崎市)

研修旅行

酒井 ひとみ

いずれも楽しみながら見学でき、又天候も良く、有意義な一日でした。

とした気持ちで、初めて、研修旅行に参加させて頂きました。いつも家にいるわたくしにとっては、大変楽しかった思い出の一つとして、残しておきたいと思っております。車内での先生方やPTA

天候にもめぐまれ、晴々

の皆さんが、一つの輪になつて楽しんでる雰囲気がとても好きでした。

小島議員さんの以外な面のひとこまもあり、長い道のりを、少しも退屈させませんでした。

自分の身体を使って楽しむということはすばらしいことですね。今でも潮干狩りをしていた様子が思い浮かべられます。

### 研修旅行雑感

高橋 正徳

委員長より、学校建設も順調に進んでいるので、今年には親睦会の様な研修旅行にしてみたいという意見をもとに、潮干狩りが企画された。

数年前から両親のどちらかが参加することだったので、今までは妻が参加していた。本年は学級委員を御世話させていただいているので、参加させてもらった。会社で、職場であるいはグループ等で方々へ出かけている今日、新郷小PTAという集りで旅するのも、日頃顔を合せた者同志とはいえ、又別の温か味を感じられずにはられない。

笑い、はしゃぎ、語り、そして歌い、一日千秋の思い出だった。これからも毎年企画されていくと思うが、会員諸君の多数の参加を求めると共に、ます／＼の親睦を深めてほしいものだ。

### 篠崎 晴美

私は、研修旅行に初めて参加させていただきました。おかげで天気にも恵まれました。家庭にいる私には会社にいる時よりも楽しい研修旅行で、とても楽しい一日を過ごさせていただきました。

バスの中ではゲームをしたり、歌を唄ったりしながらバスは、愛知県の蒲郡へと向いました。

徳川家康ゆかりの地などの見学や潮干狩りなどは、時間を忘れるほどでした。潮干狩りをしながら、今度は子供達も連れて来てやりたいと思いました。

又都合のつく限り参加させていただきますと思います。

### 研修旅行を終えて

黒田 紀光

去る七月十日、会員四十余名、学校長を始め、先生方、そして公私多忙な小島氏の参加を得、和気あたたかいたした中、車を愛知県蒲郡市へと走らせた。

お天気にも恵まれ、童心にかえり太平洋の潮水にひざごぞうまでつかり、収穫の喜びを味わった潮干狩り。会員相互の親睦を目的とした今回の潮干狩りは、大成功をおさめたのでないでしょうか。

# 若い力

## 町児童水泳大会

(58・8・2)

六年五〇m自由型

三位 高戸 昇栄

四位 一・八

三位 黒田 紀子

五位 五〇・五

五年一〇〇mリレー

三位 川越 優一

一・三六・五

北川 昌邦

野内 潤

高嶋 邦央

六年一〇〇mリレー

二位 高戸 昇栄

一・一八・五

## 町陸上記録会

第20回

(58・9・30)

中道 和也

竜田 佳幸

吉江 雅樹

三位 竜田 佳幸

二位 黒田 紀子

一位 高嶋 邦央

一年 高政ゆう子

二年 高政かおり

三年 高政かおり

四年 高政かおり

五年 高政かおり

六年 高政かおり

## 郡理科作品コンクール

(植物採集)

3 m 80 cm

銀賞 四年 青木 隆康

努力賞 六年 竜田 佳幸

## 福井県若越書道会入賞

特別賞 一年 林 亜寿香

金賞 六年 高政かおり

## 町社明運動

(習字)

入選 四年 高政ゆう子

六年 高政かおり

(ポスター)

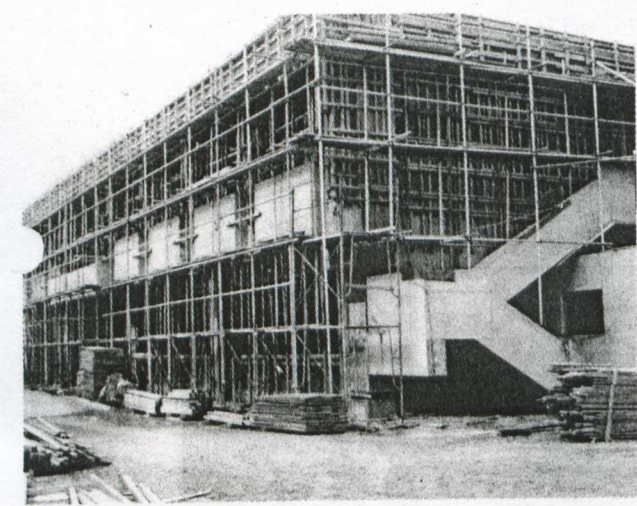
入選 四年 龍田 正則

五年 吉井 康弘

六年 蓬田 陽一



今回の研修旅行は、私にとって最後の旅行となりました。今年度も残りわずかとなってまいりましたが、これからも、皆様方のご協力をお願いいたします。



待望の新校舎建設中!

## 編集後記

今年もあとわずかな師走月となり、なんとなく気のせわしい毎日であります。子供たちも冬休みを前に元氣よく学習にはげんでいる様子です。

郷の集いも発行が六十号を数えました。本号は、グラウンドの思い出として特集してみました。いかがでしたでしょうか。皆様のご意見、ご感想などふるってご投稿頂ければ誠に幸いです。

